

1. 現行振興開発計画のレビュー

島内の基盤整備は着実に実施され、相応の成果。

しかしながら、依然として地理的、自然的、社会的、歴史的的特殊事情に起因する課題が存在。特に交通アクセスの整備は重要課題。また、保健・医療・福祉の一層の充実、及び南海トラフ巨大地震等による津波対策も課題。

一方、世界自然遺産に登録された趣旨をふまえ、固有の自然環境の価値を守るため、引き続き外来種対策等の環境保全が必要。

2. 今後の振興開発の方向

上記に照らし、小笠原諸島の地理的及び自然的特性を活かした振興開発が引き続き重要であり、このため、産業の振興による雇用の確保、住民の生活の安定に向け、自然環境との調和・共生を図りつつ、以下のような取組みを進める必要。

- ・ 農産物の安定生産・担い手の確保のための基盤強化
- ・ 漁獲高安定・担い手の確保のための基盤強化
- ・ 固有の自然環境と調和の取れた小笠原諸島ならではのエコツーリズムの振興
- ・ 津波災害を念頭に置いた、ハード・ソフト両面からの防災対策（施設の整備・移転、避難救援体制の充実、再生可能エネルギーの導入・活用推進）
- ・ 医療福祉サービスの維持向上（人材の確保、出産環境・高齢者福祉の充実）
- ・ 小笠原諸島の特殊事情とこれまでの振興開発の成果を活かした情報発信・人材育成の促進
- ・ 代替船の着実な検討・整備
- ・ 世界的に貴重な自然環境への影響、費用対効果、運航採算性等、将来の航空路開設について調査・検討

引き続き、ハード・ソフトの一体的な取組みにより、産業振興及び住民の生活の安定を図り、もって地理的・自然的特性を生かした自立的な発展を推進する必要。このため、小笠原諸島の国家的役割にも鑑み、法的枠組みにより、特別の措置を積極的に講じるべき。

3. その他

上記による振興開発を着実に実施するため、引き続き諸施策の目的の明確化及び定期的評価の実施により、適切なフォローを実施すべき。